

古墳出現期土器研究

第1号

《発刊に寄せて》 土器から古墳の出現が見えるか 石野 博信 表紙裏

《序にかえて》 初心に戻って古墳の出現を考えよう 森岡 秀人 1

<遺跡特集>

兵庫県太子町 鵜石田遺跡 渡辺 昇 3

岩倉忠在地遺跡の集落跡と庄内式併行期土器群 若林 邦彦 7

滋賀県栗東市 十里遺跡の調査について 北原 治 15

<論考>

古式土師器から見た「河内平野の集落と古墳」 米田 敏幸 21

高杯形土器における布留式土器定型化の様相 三好 玄 39

庄内式から布留式移行期の近江系土器について

—縦向遺跡と大切遺跡資料の検討— 近藤 広 55

近江地域の弧帶文—野洲川左岸遺跡出土器台を中心に— 中居 和志 63

山陰の古墳出現期における土器研究—近年の動向と課題— 中川 寧 75

福井県嶺北地域の土器様相 杉山 拓己 85

野洲川左岸遺跡出土土器の表面にみられ砂礫 奥田 尚 101

庄内式壺の地域形式と胎土について 高野 陽子 103

<報告>

古墳出現期土器研究会の記録 市村 慎太郎 112

2013

古墳出現期土器研究会

